

2016年度以降のカリキュラム適用者

『リベラルアーツ学群専攻プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この冊子は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

この冊子は、各専攻プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各専攻プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望する専攻プログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・とくに、専攻プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各専攻プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各専攻プログラムを修了するためには32～36単位の科目を修得することが必要ですが、どの専攻プログラムも、それをほかに上回る数の科目を準備しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたモデル・カリキュラムの例を示したものです。
- ・各専攻プログラムの「履修モデル」ページには、その専攻プログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、その専攻プログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、33の専攻プログラム、およびマイナープログラムがありますが、この冊子には、各専攻プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心ある専攻プログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、このように履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

リベラルアーツ学群教員一同

国際経済専攻プログラム

履修のしかた（メジャーの場合）

基礎カテゴリー ⇒ 理論・歴史カテゴリー ⇒ 応用・その他カテゴリーと、順番に履修すると、早く理解できます。基礎カテゴリーと理論・歴史カテゴリーの科目は、ビジネスエコノミクス専攻プログラム、公共政策専攻プログラムと共通です。ダブル・メジャーやトリプル・メジャーも容易です。

1～2年次に早めに履修するのが良い科目：

基礎カテゴリーの「基礎ミクロ経済学」「基礎マクロ経済学」「政治経済学」から4単位選択必修。
「学問基礎 社会理解（国際経済への招待）」（2015年以前の入学者は「専攻入門（国際経済）」）

2～4年次に履修するのが良い科目：

「マクロ経済学」「ミクロ経済学」など理論・歴史カテゴリーから16単位選択必修。
応用・その他カテゴリーから16単位選択必修。

次ページ以降の3つの履修モデル、「国際経済理論」「アメリカ経済」「開発経済・アジア経済・中国経済」も、参考にしてください。

他の専攻プログラムとの関係

- 特に関連性の強い専攻プログラム
ビジネスエコノミクス専攻プログラム、公共政策専攻プログラム
- マイナーとして推奨する専攻プログラム
ビジネスエコノミクス専攻プログラム、公共政策専攻プログラムの他に、各国経済を勉強する人には、英語学・英文学専攻プログラム、中国言語文化専攻プログラム、アメリカ、アジアなどの地域研究専攻プログラム、経済学以外に関連する幅広い専門知識を身に付けたい人には、国際関係専攻プログラム、国際協力専攻プログラム、歴史学専攻プログラム、社会学専攻プログラム、数学専攻プログラム、情報科学専攻プログラム、環境学専攻プログラムなどを、お勧めします。
- 他の専攻プログラムで履修を推奨する科目
ビジネスエコノミクス専攻プログラムの「企業金融論」「労働経済論」、公共政策専攻プログラムの「財政学」「経済政策」「金融政策」

留学・教職その他

- 留学：GOプログラム、その他の留学プログラムへの積極的な参加を勧めます。
- 教職：中学社会や高校の現代社会・政治経済など教科に関する知識が得られます。
- 毎年開催しているイベント：
ビジネスエコノミクス専攻プログラム、公共政策専攻プログラムと共同で行う、ゼミ発表会

学生へのメッセージ

- 経済や社会の動きがグローバル（地球規模）化し、私たちの日常生活や将来にも密接に関係する今日、国際経済専攻プログラムは、最も現実的でホットなプログラムです。国際経済を理解し、就職活動にも役立てましょう。
- 現実を漫然と見るのではなく、現実の背景にある論理やメカニズムを理解して、分析力を身に付けましょう。国際経済専攻プログラムでは、論理やメカニズムを学びます。
- 経済ニュースに関心を持ち、疑問点は、教員に質問しましょう。

国際経済専攻プログラム

1 国際経済理論の履修モデル

経済活動が国境を越えて世界的規模で結びつくようになっており、グローバリゼーションが進んでいます。グローバリゼーションは各国間の相互依存関係を深め、ある国での経済情勢の変化が他の国にもたちまち拡大する時代となっています。日本経済の景気と将来も国際経済の動向を無視して考えることができなくなっています。

本履修モデルは、私たちの生活に大きな影響を与えているグローバリゼーションを理解するために、国際経済の理論を広く学ぼうとするものです。将来、国内で仕事をするにせよ、国際経済に関する知識・教養をもっておくことは有益です。

国際経済専攻プログラム科目

level カテゴリー	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
基礎	○	ECO1010L	基礎ミクロ経済学	2												
	○	ECO1011L	基礎マクロ経済学	2												
		ECO1012L	政治経済学	4												
理論・歴史		ECO1080L	経済史	4		ECO2010L	経済学史	4		LAW3051L	経済法Ⅰ	2				
	○	ECO1001L	経済数学入門Ⅰ	2	○	ECO2011L	マクロ経済学	4		LAW3052L	経済法Ⅱ	2				
	○	ECO1002L	経済数学入門Ⅱ	2	○	ECO2012L	ミクロ経済学	4		ECO3110L	計量経済学	2				
						ECO2300L	経済統計論	4		ECO3111L	経済変動論	4				
						ECO2380L	日本経済史	4		ECO3113L	ゲーム理論	2				
					○	ECO2320L	日本経済論	4								
						ECO2140L	金融論	4								
						LAW2350L	労働法	4								
						ECO2112L	現代資本主義論	4								
					○	ECO2350L	社会経済学	4								
応用・その他						ECO2301L	経済学特殊講義	2								
						ANS2120L	アジアの経済	4	○	ECO3130L	国際経済論	4				
									○	ECO3131L	国際金融論	4				
									○	ECO3132L	経済開発論	4				
										ECO3330L	多国籍企業論	4				
										ECO3320L	アメリカ経済論	4				
										ECO3321L	ヨーロッパ経済論	4				
										ECO3322L	中国経済論	4				
									ECO3323L	ロシア東欧経済論	4					
									ECO3133L	国際マクロ経済学	4					
									○	ECO3331L	国際投資論	4				
									○	ECO3332L	国際貿易論	4				

※教職課程概論科目は記載していません。

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

特になし

国際経済専攻プログラム

2 アメリカ経済の履修モデル

本履修モデルは、アメリカ経済の発展とそれがグローバル経済の中で占める役割を中心に、その歴史過程や国際政治とのかかわり、さらに各国への影響と比較を交えながら、学んでいきます。

現在、激しい国際競争が展開される中で、各国経済は大きく変化を余儀なくされています。私たちの生活も各国の経済や企業の動向と密接につながっています。各国経済はどのような変化をとげようとしているのか、またその利害は日本経済や世界経済の利害と一致するのか。これからのグローバル経済を考えていく上で、ヨーロッパ諸国やアジアの国々との比較、関係を探りながら、国際経済の動向を理解することが重要です。

国際経済専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000				
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	
基礎	○	ECO1010L	基礎ミクロ経済学	2													
	○	ECO1011L	基礎マクロ経済学	2													
	○	ECO1012L	政治経済学	4													
理論・歴史	○	ECO1080L	経済史	4	ECO2010L	経済学史	4	LAW3051L	経済法Ⅰ	2							
		ECO1001L	経済数学入門Ⅰ	2	ECO2011L	マクロ経済学	4	LAW3052L	経済法Ⅱ	2							
		ECO1002L	経済数学入門Ⅱ	2	ECO2012L	ミクロ経済学	4	ECO3110L	計量経済学	2							
					○	ECO2300L	経済統計論	4	ECO3111L	経済変動論	4						
						ECO2380L	日本経済史	4	ECO3113L	ゲーム理論	2						
					○	ECO2320L	日本経済論	4									
					○	ECO2140L	金融論	4									
						LAW2350L	労働法	4									
						ECO2112L	現代資本主義論	4									
					○	ECO2350L	社会経済学	4									
応用・その他					○	ANS2120L	アジアの経済	4	○	ECO3130L	国際経済論	4					
									○	ECO3131L	国際金融論	4					
										ECO3132L	経済開発論	4					
										ECO3330L	多国籍企業論	4					
									○	ECO3320L	アメリカ経済論	4					
									○	ECO3321L	ヨーロッパ経済論	4					
									○	ECO3322L	中国経済論	4					
										ECO3323L	ロシア東欧経済論	4					
									ECO3133L	国際マクロ経済学	4						
									ECO3331L	国際投資論	4						
									○	ECO3332L	国際貿易論	4					

※教職課程概論科目は記載しておりません。

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

特になし

国際経済専攻プログラム

3 開発経済・アジア経済・中国経済の履修モデル

本履修モデルは、国際経済学の理論的枠組に基づいて、発展途上国(かつての日本も含む)の経済発展の歴史、アジアを中心とする発展途上国の現状、それらの背景にある経済発展のメカニズムや経済のグローバル化との関わりについて学んでいきます。

今日、アジアを中心とする発展途上国は目覚ましい経済発展を遂げ、これまでの先進国に成り替って世界の経済成長を牽引しており、近い将来、世界経済の主役となると考えられています。こうした中、発展途上国の経済、産業の発展に関する知識を身につけることは、今後の世界経済の動向を考える上で、非常に重要です。

国際経済専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
基礎	○	ECO1010L	基礎ミクロ経済学	2												
	○	ECO1011L	基礎マクロ経済学	2												
	○	ECO1012L	政治経済学	4												
理論・歴史		ECO1080L	経済史	4		ECO2010L	経済学史	4		LAW3051L	経済法Ⅰ	2				
		ECO1001L	経済数学入門Ⅰ	2	○	ECO2011L	マクロ経済学	4		LAW3052L	経済法Ⅱ	2				
		ECO1002L	経済数学入門Ⅱ	2	○	ECO2012L	ミクロ経済学	4		ECO3110L	計量経済学	2				
					○	ECO2300L	経済統計論	4		ECO3111L	経済変動論	4				
						ECO2380L	日本経済史	4		ECO3113L	ゲーム理論	2				
						ECO2320L	日本経済論	4								
					○	ECO2140L	金融論	4								
						LAW2350L	労働法	4								
						ECO2112L	現代資本主義論	4								
					○	ECO2350L	社会経済学	4								
応用・その他						ECO2301L	経済学特殊講義	2								
					○	ANS2120L	アジアの経済	4	○	ECO3130L	国際経済論	4				
									○	ECO3131L	国際金融論	4				
									○	ECO3132L	経済開発論	4				
										ECO3330L	多国籍企業論	4				
										ECO3320L	アメリカ経済論	4				
										ECO3321L	ヨーロッパ経済論	4				
									○	ECO3322L	中国経済論	4				
									ECO3323L	ロシア東欧経済論	4					
									ECO3133L	国際マクロ経済学	4					
									ECO3331L	国際投資論	4					
								○	ECO3332L	国際貿易論	4					

※教職課程概論科目は記載していません。

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

特になし